

**E1A新東名高速道路(海老名南JCT～御殿場JCT間)連絡調整会議  
(第3回)**

**説明資料**

2019年8月27日

# (1) E1A新東名高速道路の工事概要について

- 海老名南JCT～厚木南IC間2kmは2018年1月28日、厚木南IC～伊勢原JCT間4kmは2019年3月17日に開通
- 伊勢原JCT～御殿場JCT間の延長48kmにおいて事業中
- 用地は概ね取得済みで、工事用道路の整備及び埋蔵文化財調査等が完了した箇所から順次本体工事に着手
- 事業中区間の路線の特徴は、橋梁区間が約3割、トンネル区間が約4割と構造物比率が高い  
特に山北町や松田町域では急峻かつ狭隘な山岳地形の中、大規模な橋梁やトンネルの工事を推進中



## (2) 厚木南IC～伊勢原JCT間 開通後の交通状況

- ・開通した新東名(厚木南IC～伊勢原JCT)の交通量は1.0万台/日
- ・並行する東名(厚木IC～伊勢原JCT)の交通量は約0.6万台/日減少
- ・東名と新東名の断面交通量は約0.4万台/日増加



伊勢原JCT付近開通後の状況(伊勢原市域)



### (3) 伊勢原JCT～伊勢原大山IC間の工事進捗について

- ・橋梁工事は概ね完成、現在、伊勢原JCT、伊勢原大山IC付近の土工工事を進めており、順次、舗装・設備工事に着手
- ・2019年内の開通に前倒しすべく、鋭意工事を推進中



伊勢原JCT付近現場状況(伊勢原市域)



伊勢原大山IC付近現場状況(伊勢原市域)



## (4) 伊勢原大山IC～秦野IC間の工事進捗について

・用地取得の難航、膨大な埋蔵文化財調査により、道路本体工事が遅延

### ■用地取得

- ・難航する箇所が一部に存していたことから、2017年3月に事業認定の告示を受け、その後に裁決申請等の手続きを行うなど、用地取得を進めてきました

### ■埋蔵文化財調査

- ・当該区間の埋蔵文化財調査面積は約26万平方メートル(東京ドーム約5個分)であり、調査箇所が点在しているなかで調査を進めています
- ・また、調査を進めるなかで、旧石器時代の遺跡が確認されたことなどに伴い、深さ方向に調査範囲を拡大しながら調査を進めています



埋蔵文化財調査状況(伊勢原市域)



埋蔵文化財調査状況(秦野市域)

## (5) 秦野IC～御殿場IC間の工事進捗について

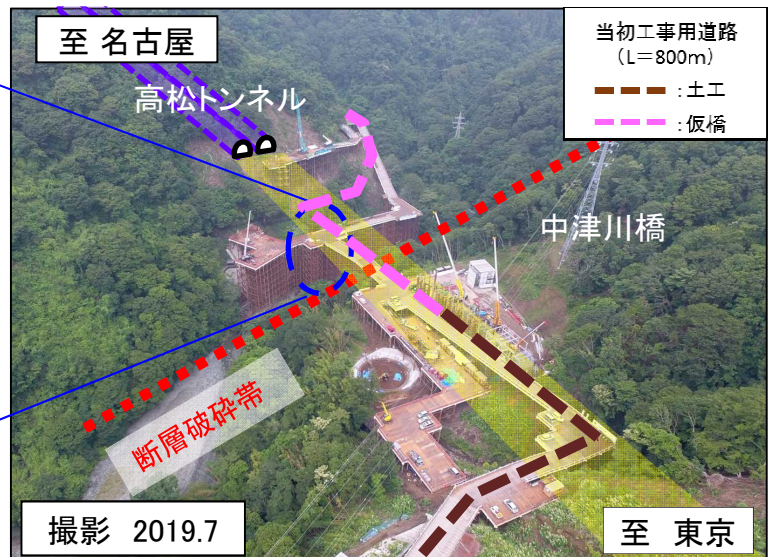
- ・のり面崩落に伴う工事用進入路のルート及び構造の見直し、想定以上の断層破碎帯※が確認されたことによる橋梁構造形式の変更、これらに伴う施工計画の見直しが発生

### ■工事用進入路の確保難航

- ・急峻かつ狭隘な山岳地形の中での工事用進入路整備では、のり面崩落によるルートや構造の見直し、急斜面の転石・岩塊の落下防止、大規模な仮設設備の設置など、整備が難航しています



のり面の崩落

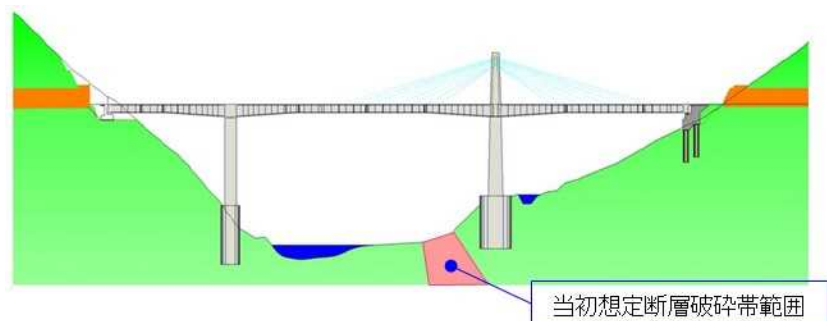


工事用進入路のルート変更(松田町域)

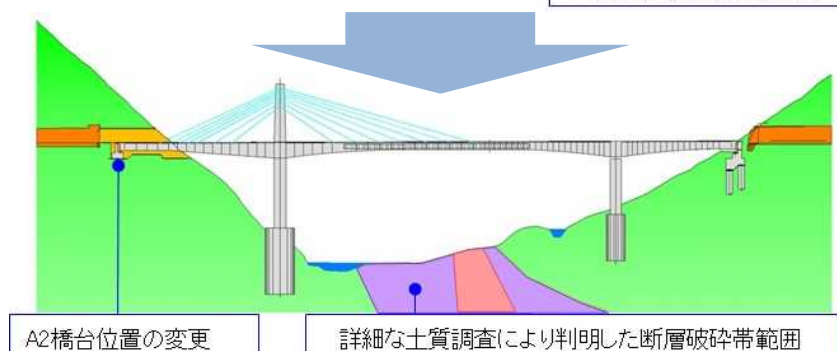
### ■橋梁構造形式の変更

- ・詳細な地質調査を行った結果、断層破碎帯が想定以上に広範囲であったことから、断層を避けた位置に下部工を配置するなど構造見直しの必要が生じました
- ・下部工位置の見直しにより、A2橋台がトンネル内に配置されるため、トンネル坑口ののり面補強、トンネル大断面掘削、坑門工他を施工の後、A2橋台を施工する計画に見直しました

【構造見直し前】



【構造見直し後】



※ずれの生じた断層面に沿ってできる岩石破碎部。一般に軟弱で、浸食、崩壊が早く進む



## (6) 御殿場IC～御殿場JCT間の工事進捗について

- ・橋梁工事は、下部工工事が完成したところから、順次、上部工工事に着手
- ・土工工事は、横断構造物を構築しながら盛土を造成中



御殿場IC付近 橋梁上部工施工状況(御殿場市域)



御殿場IC付近 土工部施工状況(御殿場市域)



## ○伊勢原JCT～御殿場JCTの開通時期について

- 伊勢原JCT～伊勢原大山IC間は、2019年内の開通を目指し工事を推進中
  - 伊勢原大山IC～秦野IC間は、用地取得の難航、膨大な埋蔵文化財調査により、道路本体工事が遅延
  - 秦野IC～御殿場IC間は、のり面崩落に伴う工事用進入路のルート及び構造の見直し、想定以上の断層破碎帯が確認されたことによる橋梁構造形式の変更、これらに伴う施工計画の見直しが発生
  - 伊勢原大山IC～御殿場JCT間は、下記の時期の開通を目指し工事を推進
    - ・伊勢原大山IC～秦野IC : 2020年度 → 2021年度
    - ・秦野IC～御殿場IC : 2020年度 → 2023年度
    - ・御殿場IC～御殿場JCT : 2020年度 → 2020年度
- ※引き続き、工程短縮策に努め1日も早い開通へ努力

